

第89回 理事会(平成16年度第9回)議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成17年4月4日(月) 19:00~20:50
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 4階第2会議室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事： (副会長)古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
(専務理事)片 忠夫
(常務理事)三塚 康雄、上田 英之、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷 芳隆
(理事)本田 衛義、徳本 進、岡本 洋一、川田 光代、木村 徳善、
清水 忠、百海 廷、平沢 幸一、栗田 謙悟、斎藤 幸雄
欠席理事： (会長)河野 洋平、
(理事)柴田 秀一、長久保 巖、佐々木生道、菊地 勇二、吉岡 去私
4. 出席監事： 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出：清水 忠理事、栗田 謙悟理事を選出
7. 書記： 三浦 亜矢子 広報委員を指名
8. 議 事

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

菊地本部長より、口頭にて下記の行事についての報告がなされ、了承された。

イ) ノルディック 第2回歩くスキーバスツアー中止について

会期：3/26~27、会場：長野県霧ヶ峰、参加13名と少なく中止とした。

ロ) アルペン 第3回チャレンジカップ&第2回トールエルカップスキー競技会について

会期：4/1~3、会場：長野県レーシングキャンプ野辺山：参加：延べ610名、

・片専務より、協賛企業へ会長名でお礼状を出すことの指示があった。

ハ) アルペン 次年度の第57回神奈川県総合体育スキー競技会予算額示達について

県スポーツ課より県総体の予算回答があり、金額は575000円です。(5%カット)

・競技本部にて、カット分の対応を検討します。

(2) 審議事項

県連スキー合宿での外部コーチ謝金について

菊地本部長より、ジュニア・国体合宿については県体協コーチは上限が3万円となっているが、県連合宿に外部コーチを招いた時の謝金が決まっていないので、個別に決めたいとの提案がなされ、予算化して審議することで承認された。

片専務理事より、教育本部は全日本クラスの技術選強化、理論研修会等で講師を招いて開催しているが、参加人員により1人当りの単価は違う。1行事または1日いくらで日数分を支払うかは検討しておくことの指示が出された。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

渡辺本部長より、別紙のとおり下記行事についての報告がなされ、了承された。

イ) スキー技術強化合宿D開催について

会期：3/6~9 会場：長野県八方 参加14名、役員5名

ロ) 第42回全日本スキー技術選手権大会開催について

会期：3/10~13 会場：長野県八方 準決勝 佐藤拓也(127位)

- 八) 第2回全日本スノーボード技術選手権大会開催について
会期：3/19～21 会場：北海道ルスツ 参加8名、役員1名
- 二) 第4回環富士山スキー技術選手権大会開催について
会期：3/19～20 会場：長野県白馬五竜 参加277名
・全体の参加人員は変わらず、SAK参加者は昨年より37名減
- ホ) 車山行事 開催について
会期：3/26～27 会場：長野県車山 参加者：研修会58名、クリニック59名、
B級検定員13名(合格13名100%)、C級検定員42名(合格42名100%)
傷害を持つ方のためのスキー教室34名
- へ) 第20回全国スキーパトロール技術競技大会開催について
会期：3/26～27 会場：長野県夜間瀬 成績：男子8位・9位、女子2位・3位
- ト) 第6回全日本カービングスキー選手権大会開催について
会期：4/1～3 会場：群馬県尾瀬岩鞍 参加：3名

パトロールのアキヤボード維持費対応について

木村理事より、アキヤボードの維持費について、従来は専門委員から会費を集めて修理していたが、今年度は会費を集めないこととした。来年度より予算化して修理費等の対応をしていくとの報告があり、了承された。

山田副会長より、修理費を専門委員から集め、受験者からも徴収していただきたい。徴収したお金の用途は、過去の問題であってもはっきりすべきで次回の理事会で説明することの要望が出され、木村理事より4月7日(木)の安全対策委員会で確認するとの回答があった。

片専務理事からアキヤボードの修理代は専門委員から5000円を徴収していたが、執行部は知らなかった。安全対策委員会が開催されて、交通費が本人に渡っていないという疑惑めいたことが出ており、和田委員長には厳しく申した。県連から離れて独自のユニホームをつくり、独自の活動をしているのでパトロール関係は、てこ入れし来季以降は予算申請し県連として、面倒を見ることになると述べた。

準指導員検定会の問合せについて

清水理事より、準指検定に関する2件の問合せがあった。1件目は、ビブNo7小坂谷さんより、判定方法及び滑りに関しての質問で、今回検定委員会で試行的にビデオ撮りをしていたので、それをもとにアドバイスを含めて本日回答書を作成し、本部長の承認後回答したい。2件目は、資料を配布したが、ビブNo49恩田さんより、養成講習会、準指検定会での疑問8項目について書面で問い合わせあり、回答については教育本部だけでなく、SAKとして対応すべきであるとの報告があった。

山田副会長より、この質問状は執行した人達の誠意がないと言っており、専務理事が務めた主任検定員に対する抗議まであるのだから、これは副会長が回答しなければならないと思われる。このような抗議文が匿名でなく、本人名で出しているのだから、こちらも気を引き締めて慎重に回答を考えていただきたい。養成講習会についても担当講師の事実確認が必要であり、専門委員の言動が事実ならば、相当教育しないとこんな調子で講習会をやっているのならとんでもない話であり、執行責任者も含め教育本部で検討してくださいとの要望が出された。

野地副会長からは、1件目も書面で届いているのなら理事会で配布しなければいけない。理事全員が同じレベルで認識できないので今後はそのようにしていただきたい。それからビデオをみてチェックはよいが、判定はビデオではないので、回答内容も慎重な配慮が必要である。

また、本件についてきちんと文書で対応するのは当然だが、内容を見るとどのように改善して次年度につなげるのか、専門委員の問題についても明確に改善すべきことなので、執行責任者の専務・常務を含めて、対応をお願いしたいとの要望が出された。

渡辺本部長より、これらの意見を参考に対応していくとの回答があり、了承された。

(2) 審議事項

第6回全日本カービングスキー技術選手権大会の派遣選手及び打ち切り補助の承認について

渡辺本部長より、上記のカービングスキー選手権大会の参加費について、今回は急なことでSAKが一時的に負担して、理事会で審議することで対応した旨の提案がなされ、承認された。

片専務理事より、今回参加の3名は派遣選手として推薦するが、来季に向けて推薦基準を作ること及び予算申請することの指示があった。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

慶弔関係について

県連顧問の柳沢須佐男氏が死去された。県連より香典を出すことの報告があり、了承された。

片専務理事より、加盟団体には総務本部からFAXで連絡するように指示があった。

ハンディキャップ委員会

越前谷事務局長より、車山行事で第6回傷害を持つ人のためのスキー教室を併設した。(参加者名簿は別紙) 今週10日までに県へ報告するため対応中との報告があり、了承された。

広報委員会

徳本理事より、「SAKだより49号」の編集中であり、発行は5月連休明けを予定している。また、雪上行事の取材は計画通りに終了しましたとの報告があり、了承された。

評議員選出依頼について

越前谷事務局長より、評議員選出規程に基づき、評議員選出依頼を3月末に発送済で、提出は4月末日締切りとの報告があり、了承された。

登録状況について

岡本理事より、別紙のとおり登録数に関する収入について、3月2日現在、スキー登録数は減ったが、スノーボード登録がプラスになっている。個別にはスノーボード単独、マスターズポイント管理者分が増えているとの報告があり、了承された。

未会計・会計修正あり行事の見直しについて

岡本理事より、会計報告が終わっていない行事名を別紙に一覧で表わしたが、今週土曜日を目処に会計を閉めます。入出金を出来るだけしないように事務局に依頼予定です。各行事報告書のミス個所にコメントを付けてあるので、修正願いますとの報告があり、了承された。

(2) 審議事項

全日本スキー連盟 創立80周年に伴う功労者の推薦(提出期限; 3/15)について

越前谷事務局長より、過去20年に渡りSAJ役員及び県連役員で顕著な貢献をされた方として、前回の理事会で5名をリストアップしたが、最終的には河野会長、山田副会長、柴田参与の3名を県連推薦で提出済であることの提案がなされ、承認された。

SAK平成18年度方針・予算スケジュールについて

徳本理事より、別紙のとおり「第12回春季定例評議員会資料作成」を基に説明提案がなされ、日程表の中で次回理事会を5月9日(月)に変更することで承認された。

片専務理事より、今週中に専務方針を送りますので、各本部はそれに基づき本部方針を作成することの指示があった。

SAJ B級大会等の事務処理ミスによる申込み漏れに対する旅費等の取扱いについて

越前谷事務局長より、北海道増毛町で行われたB級大会のエントリーが現地に届いていないミスが発生した。これはSAKのミスで、当人は現地に到着しており競技本部長が協議結果、往復の交通費を負担することで調整済であるが、参加者が負担した費用全額(旅費・宿泊費・荷物送料)を支払うことの提案がなされ、承認された。

片専務理事より、何故このようなミスが発生したのか事実関係を調査し、事務処理ミスの再発防止策を確認すること、また、救済についてのルールがなく、これからはルール化し処理をきちんと出来る

ようにしてください。これは総務本部で検討してくださいとの指示があった。

個人情報保護規程について

徳本理事より、別紙の資料「個人情報保護法施行に伴う対応」について説明がなされた。これは2005年4月より個人情報保護法の施行に伴い、5000人超の個人情報を持つ一般企業が対象で情報の不正取得禁止や漏えい防止措置などを義務付けている。SAKの対応としても個人情報の取り扱いについて、規程及びガイドラインを作成しそれに基づき運用していくが、今回は規程及び県連の管理体制についての提案がなされ、規程及び管理体制の一部修正することで承認された。但しガイドライン及び宣言方法は次回理事会に提案することとした。

片専務理事より、全体像の概略をつくり個々の細かい所を決めていきたい。管理体制が大事であり、国の動きが変われば追加・訂正したい。印刷会社の管理及び情報開示は、ガイドラインできちんとしておくことの指示があった。

SAKグッズのアイデア募集について

上田本部長より、今年は新しいウエアと公認グッズを選定して販売したが、来季に向けての新しいアイデアを募集したいので、その許可を願いたい旨の提案がなされ、承認された。

ブロック交付金の交付について

岡本理事より、交付金の案内を4月7日付けで各ブロック宛に発送します。5ブロック×5万円を支出する旨の提案がなされ、承認された。

4) その他

井駒監事よりコメント

参加者からのクレームは担当本部で対応するのではなく、SAKとして対応していただきたい。それを常務会で受け止め話し合いをし、以後係る事態が発生しないようお願いしたい。次に会計処理が遅れているが、年度始めに会計報告は行事終了後2週間以内に処理することをお願いしたが、延びている実態あるので、例えば他の仕事をしながら会計をするのではなく、会計担当を決めてやれば遅れは発生しないのではないかと検討ください。3点目は正指導員検定会の結果が理事会で報告されていない。4点目は全日本マスターズ大会でSAKの位置付けが不明確と話題になったが、これは告知がされてなく、来季はHP・SAKツール等に参加要項を載せて明確にしてくださいとの要望があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成17年 4月 15日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印